

2025 年 4 月 8 日

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ
株 式 会 社 三 菱 U F J 銀 行

「スルー・ザ・サイクル・ファンド投資事業有限責任組合」への出資について

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（代表執行役社長 亀澤 宏規^{かめざわ ひろのり}、以下 MUFG）の連結子会社である株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 半沢 淳一^{はんざわ じゅんいち}、以下 当行）は、今般、中期経営計画で掲げる成長戦略のうち、不動産リスクテイク強化を推進することを目的として、「スルー・ザ・サイクル・ファンド投資事業有限責任組合」へ出資しました。

本ファンドは、三菱 UFJ 信託銀行株式会社（取締役社長 窪田 博^{くぼた ひろし}）が運用者として関与の上、一般社団法人が無限責任組合員として設立する不動産ファンド（投資事業有限責任組合）に対し、当行より出資比率 100%で有限責任組合出資を行うものです。

当行は、中期経営計画で掲げる不動産リスクテイク強化を推進する上で、市況循環に左右されないビジネスモデルの構築を進めています。本ファンドは、不動産市況のシクリカル性（循環的な景気変動）に着目し、市況の下落局面であってもエクイティ出資による資本供給を行うなど、一貫して不動産市場に向き合うこと（スルー・ザ・サイクル）をコンセプトに運営します。

本ファンドを通じた資本供給により、MUFG における不動産ビジネスの強化を図り、グループ一体での成長戦略を進めてまいります。

【本ファンドの概要】

ファンド名称	スルー・ザ・サイクル・ファンド投資事業有限責任組合
運用者	三菱 UFJ 信託銀行株式会社
出資総額	最大 300 億円
ファンド期間	10 年
出資者	当行（100%）
投資対象	以下の不動産を裏付資産とする投資有価証券 ・ 不動産市況をはじめとした特定の要因を以て、市場価値が「不動産の本源的価値」から乖離していると評価される不動産

以 上